

ERE information

Vol.29 2016年2月22日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第29回経済学検定試験：応募者数 前回は大幅に上回る！
——『ERE』の平均点は24点上昇、『EREミクロ・マクロ』は前回と同得点——
- ▶第24回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：専修大学チームが3連覇！
 - ・プレッシャーを原動力に、3回連続優勝へ（優勝チーム 中村友哉さん）
 - ・同じ意志をもつ仲間との学習会でレベルアップ（準優勝チーム 杉田将弥さん）
 - ・かけがえのない時間を仲間と共有できたことが、最大の成果に！（個人賞トップ 河村侑紀さん）
- ▶第25回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第30回ERE実施要領
- ▶委託会場制度利用のご案内

《第29回経済学検定試験》

応募者数 前回は大幅に上回る！

『ERE』の平均点は24点上昇、『EREミクロ・マクロ』は前回と同得点

2015年12月6日(日)に実施いたしました第29回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめ担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回のEREとEREミクロ・マクロの合計応募者数は1,491名で、前回の応募者数1,197名を大幅に上回りました。特に応募者が多かったのが明海大学です。2015年に経済学部のカリキュラムを一新した関係で、経済学科グローバル経済コースの1年生96名が受験となりました。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を24.3点上回りました。ミクロ経済学、財政学の平均点が前回の平均点を下回りましたが、マクロ経済学、国際経済などが前回は上回ったことで平均点が上昇しました。EREミクロ・マクロの平均点は、前回の平均点190.9点と同得点となっています。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	110.5点	127.5点	50.3点	46.0点	48.5点	38.2点
(前回)	118.9点	110.2点	57.9点	35.2点	34.9点	39.7点
標準偏差	42.01	47.67	22.36	18.09	19.05	21.02
(前回)	51.63	56.61	26.18	22.22	18.16	19.92

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	92.9点	98.0点
(前回)	97.8点	93.2点
標準偏差	40.73	41.03
(前回)	44.12	44.14

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	91名	1,400名
受験者数	60名	1,135名
平均点	421.0点	190.9点
標準偏差	132.04	74.67
最高得点	750点	440点
最低得点	190点	40点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	96	20	山口大学	16
2	九州共立大学	80	20	広島修道大学	16
3	青山学院大学	75	22	金沢大学	14
4	琉球大学	56	22	跡見学園女子大学	14
4	龍谷大学	56	22	九州産業大学	14
6	中央大学	43	25	明治大学	13
7	大阪経済大学	37	25	名古屋学院大学	13
8	麗澤大学	36	25	岡山商科大学	13
9	大阪産業大学	35	28	熊本学園大学	12
10	札幌大学	32	29	旭川大学	11
11	専修大学	29	29	立正大学	11
12	福島大学	27	31	名古屋市立大学	7
13	日本大学	26	31	専)福岡カレッジ・オブ・ビジネス	7
14	大分大学	25	33	お茶の水女子大	6
15	関東学院大学	24	33	創価大学	6
16	長崎県立大学	23	35	宇都宮大学	5
17	久留米大学	22	35	新潟産業大学	5
18	弘前大学	20	37	立命館大学	3
19	武蔵野大学	19	38	長岡大学	1
				個人申込	543

*団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			伊與田 祐也	S
2	東京大学	経済学部	金 重 洸 紀	A+
2	専修大学	文学部	中 村 天 平	A+
4			清 水 邦 敏	A+
4			大 沼 英 明	A+
6	総務省	統計局	新 川 恭 兵	A
7	専修大学	経営学部	中 村 友 哉	A
8			藤 田 美 穂	A
8			松 田 麟 太 郎	A
10				A
11	明治大学	政治経済学部	渡 邊 大 貴	A
12	前川公認会計士事務所	所長	前 川 克 博	A
13			小 俣 惇	B+
13			松 田 耕 至	B+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
15			三 宮 信 秀	B+
15			入 江 明 憲	B+
17	明治大学	政治経済学部	平 岡 祐 典	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			ZHOU FANGWEN	S
1			MI MINGLIANG	S
1			YAN MEIQI	S
1	明治大学	農学部	河 村 侑 紀	S
5				S
6				S
6			REN QIUYI	S
6			蔡 舒 舒	S
9	福島大学	経済経営学類	杉 田 将 弥	S
9	専修大学	経営学部	古 郡 拓 也	S
11			KUANG XUAN	S
11			XU BINGJIE	S
11	横浜国立大学	経済学部	YU SHIYU	S
11	(株)MSC Management	代表取締役	島 本 昌 和	S
15			岩 瀬 祐 介	S
15	名古屋市立大学	経済学部	柴 田 皓 太	S
15			秦 洛 丹	S
18	福島大学	経済経営学類	大 峯 昌 樹	S
18			NIE YIFAN	S
18	明治大学	情報コミュニケーション学部	王 文 超	S
18			朱 正	S
18			李 慧 民	S
18			張 垂 男	S
18	熊本学園大学	経済学部	坂 本 竜之介	S
25				S
25	慶應義塾大学	経済学部		S
25			陳 波	S
25			彭 博	S
25	明治大学	農学部	幸 田 健 志	S
25			HUANG TING	S
31	福島大学	経済経営学類	林 尚 志	S
31			SHI YUE	S
31			田 中 裕 輝	S
31			許 書 ブン	S
31			SU SHAN	S
31	上智大学	経済学部	角 瀬 陽太郎	S
31			ZHANG YUE	S
31	明治大学	農学部	米 谷 佳 祐	S
31	横浜国立大学	経済学部	金 昌 宣	S
31			出 口 隆 裕	S
31			石 田 航	S
31			近 藤 誠	S
31			王 冠	S
31	京都大学	農学部	後 藤 洋	S
31	神戸大学		雷 て い	S

《第24回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

専修大学チームが3連覇！

準優勝は福島大学「経済分析同好会」／個人賞トップは河村侑紀さん

第24回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、12校28チーム、計188名で競われました。優勝は、専修大学「ハイレベルコースA」チームでした。1,580点を獲得して、前回に引き続き、3回連続の優勝となりました。

準優勝チームは、1,480点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チーム（第3位の明治大学「食ビジネス論研究室」チームと平均点が同点ですが、チーム全員の平均点が13.75点上回り準優勝となりました）です。

第3位には、1,480点を獲得した明治大学の「食ビジネス論研究室」チームが入りました。「大学対抗戦」個人成績のトップは、440点を得点した明治大学「食ビジネス論研究室」チームの河村侑紀さんです。

なお、個人賞は360点以上11名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は、232.60点で前回は18.55点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	ハイレベルコースA	専修大学	1,580点	395.0点
準優勝	経済分析同好会	福島大学	1,480点	370.0点
第3位	食ビジネス論研究室	明治大学	1,480点	370.0点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝（3回連続） 専修大学「ハイレベルコースA」

プレッシャーを原動力に、3回連続優勝へ

この度は、E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝し、専修大学として3回連続優勝を果たせたことをチーム一同大変喜ばしく思います。

前回、前々回と優勝が続いていたことでプレッシャーは大きいものでしたが、逆にそのプレッシャーを原動力に変えて、検定試験に向けて日々努力してきました。

わからない箇所をメンバーでお互いに教えあうことで、効率的に学習を進めると同時に、チームで協力して課題に立ち向かうことも学べたと思います。私自身は、最初は教えてもらう側でしたがそれが悔しく、逆に教える側になろうと基礎からしっかりと勉強してきたことで良い成績が残せたと思います。

このような結果が出せたのは、サポートしてくださった石川秀樹先生や職員の方々のおかげだと強く感じています。この場を借りて感謝申し上げます。

今回優勝することができましたが、さらに自分たちの知識を高めるとともに、これからも大学対抗戦で優勝し続けられるように、後輩達を指導していきたいです。

（専修大学 ハイレベルコースA 中村友哉さん）

☆準優勝 福島大学「経済分析同好会」

同じ意志をもつ仲間との学習会でレベルアップ

今回、大学対抗戦で準優勝という結果を残すことができ、とても嬉しく思っています。このような結果を残せたのは、ゼミでの先生方のご指導や各自の日々の学習を通して、しっかりと知識を定着させることができたからだと思います。

私たちの大学では、基礎としてミクロ・マクロ経済学を学習するので、その理解度を客観的に把握できる ERE の受験が推奨されていて、サブゼミや学習会といった経済学を学ぶ環境も整っています。その中でより経済について詳しくなりたい、知識を深めたいという人達が集まって行うサークル活動としての「週1回の学習会」では、個人では理解しにくいところをメンバー同士で意見交換を行って解決することができます。このことが、全体のレベルアップに繋がったと感じています。

今後は更なる高みである優勝を目指して、より学習に励んでいきたいと思っています。

(福島大学 経済分析同好会 杉田将弥さん)

☆個人賞トップ

かけがえのない時間を仲間と共有できたことが、最大の成果に!

この度、ERE ミクロ・マクロ「大学対抗戦」の個人賞トップという成績を残すことができ、大変嬉しく思います。明治大学農学部「食ビジネス論研究室」の中嶋晋作先生の丁寧なご指導や研究室の仲間との切磋琢磨が、このような結果に繋がったと考えています。関係者の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

私の専門としている農業経済学は応用経済学の一分野であり、理論と実態のバランスが求められます。ERE に取り組むことで、エコノミックリテラシーを習得することができ、農業経済学の研究にプラスに作用したことは言うまでもありません。

勉強では、過去問題を数年分解くことに注力しました。骨の折れる問題も多く、ありとあらゆる文献を参考に、一題一題潰していきました。時には、終電を逃して仲間と研究室で徹夜したこと、ファミレスで問題を解きながら数時間粘ったこともありました。

「ERE の成果は？」と問われたら、「経済学を習得できたこと」とは答えないでしょう。ひとつの目標に向かって、大切な仲間とかけがえのない時間を過ごせたこと、このことが私にとって最大の成果なのだから。

(明治大学 食ビジネス論研究室 河村侑紀さん)

2016年7月受験用 ERE 経済学検定試験 問題集

直近4回分360問をポイント解説!

- 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会が認定する唯一のERE受験対策問題集です。
- 第26回～第29回の試験問題と解答・ポイント解説を掲載。本書により出題傾向がつかめます。
- 国家公務員試験の受験対策、演習用のテキストとしても有効に活用できます。

経済法令研究会 編 日本経済学教育協会 認定
A5判 304頁 予価1,900円+税

第25回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2016年7月3日(日) 実施

●受付期間：2016年4月20日(水)～5月20日(金)〈消印有効〉

※エントリー料：無料

●前回まで参加した52校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
中央大学／筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／
同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／
名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／武蔵野大学／
明治大学／山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学



日経TEST

経済知力スコアで、キャリアアップのチャンスをつかめ！

<http://ntest.nikkei.jp>

「経済知力」とは、知識や情報を有効に活用して、経済のしくみや流れを理解し、新しいビジネスを生み出す能力のこと。日経TESTは、「経済知力」がどのくらい備わっているかを客観的に測ります。社員の能力判定や昇進・採用、人材育成の目的で導入する企業が増えています。レベルアップの目的で受験する個人も増えています。

全国一斉試験 年2回、全国で実施

実施日：**2016年6月12日(日)・11月13日(日)**

会場：札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・名古屋・
金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡・熊本

出題形式：マークシート方式による四肢択一

受験料：**5,400円**(税込み)

申込締切：**6月試験 2016年5月11日(水)**

11月試験 2016年10月12日(水)

お申し込みは

日経TEST

検索

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活用例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国15の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2016年度 第30回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 30 回
試験日	2016年7月3日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2016年4月20日（水）～2016年5月20日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 30 回
試験日	2016年7月3日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2016年4月20日（水）～2016年5月20日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

委託会場制度利用のご案内

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものです。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込みをいただく場合は「団体受験申込制度」があり、一定の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。

詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03（3267）4821 FAX：03（3267）4999 e-mail：info@ere.or.jp